



交通安全情報

—8月号—

令和8年8月7日
警視庁交通規制課

クレーン車の横転事故発生！

【事故の状況】

共同住宅の建築現場における擁壁構築のため、ラフタークレーンに資材を吊って作業中のところ、アウトリガーを左右に張り出さずに接地させていたため、荷重でバランスを崩して、クレーンが横転し、クレーンのアームが隣接地の家屋屋根を突き破り、建造物を損壊したものです。

家屋の住人や作業従事者、通行人に負傷者はありませんでした。



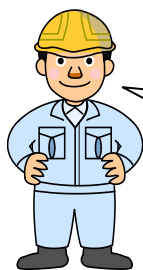
【事故防止対策】

- アウトリガーは地面に固定するだけではバランスが不安定なため、必ず左右に張り出して接地してください。
- 現場責任者は、クレーン作業のアウトリガーを展開する地面について、施工前に地盤確認を確実に実施し、必要により鉄板等で養生してください。
- アウトリガーの展開位置は垂直荷重が過度に集中することのないよう、荷重の分散を考慮して展開してください。
- アームの旋回半径等を考慮して作業帯を設置してください。

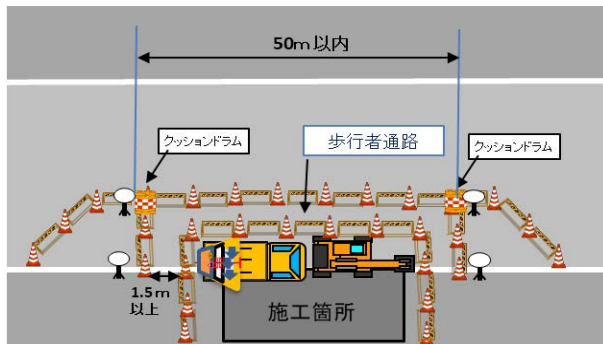
道路使用許可 one point ～歩行者通路の切り回し～

～歩行者通路を車道へ切り回す場合～

- ① 歩行者通路の幅員は、原則として1.5メートル以上としてください。
- ② 切り回し通路の前後、交差点、曲がり角等に「歩行者通路標示板」及び「矢印板」を設置し、歩行者通路と車道とは、A型バリケード等の堅固な柵で分離してください。
- ③ 切り回し通路の先端部には、クッションドラムを設置してください。
- ④ 切り回しの距離は、原則として50メートル以内としてください。
- ⑤ 切り回し距離が50メートルを超える場合は、通路の途中に退避場所を設けてください。



車道への切り回しは、現場の状況、施工内容等から真にやむを得ない場合以外は、避けましょう！



警視庁公認
交通安全
情報サイト

交通事故を防ぐ、簡単だけど、効果のある方法が満載！
TOKYO SAFETY ACTION
<https://www.safetyaction.tokyo/>

